

施策分析シート（平成30年度）

No1

施策名	活気あふれる商店街づくり	施策No	05-04	部課名	産業経済部産業振興課
				課長名	岸 内線 445

関連部課名					
--------------	--	--	--	--	--

行政評価	分野	産業革新都市			
事業体系	政策	05	活力ある地域経済づくり		

目的 区内商店街で地域住民が日常の買い物をするとともに、商店主等との会話が交わされ人の輪が広がることにより、商店街全体の活性化につなげる。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
		27年度	28年度	29年度			
	買い物利便性	3.41	3.44	3.41	お住まいの地域での買い物が便利だと思いますか？		
標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明	
		27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)
	商店街数(団体)	42	41	41	41	41	
	イベント推進事業件数(件)	30	31	31	29	40	年間件数

(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額	28年度		29年度	差額	28年度	29年度
行政費用	給与関係費	25,967	25,965	2	地方税	0	0	0	
	物件費	1,050	908	142	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	162	162	都支支出金	10,132	14,141	4,009	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	64,290	73,197	8,907	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	189	189	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	10,132	14,141	4,009	
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,012	3,313	1,301	行政収支差額(a)-(b)=(c)	83,376	89,593	6,217	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	93,508	103,734	10,226	通常収支差額(c)+(d)=(e)	83,376	89,593	6,217	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	83,376	89,593	6,217		

貸借対照表	勘定科目				流動負債	勘定科目			
	28年度	29年度	差額	28年度		29年度	差額	28年度	29年度
流動資産	収入未済	1,127	1,126	1	還付未済金	0	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	1,087	1,131	44	
固定資産	有形固定資産	91,932	91,743	189	その他の流動負債	0	0	0	
	土地	86,760	86,760	0	固定負債	12,186	13,236	1,050	
	建物	5,740	5,740	0	特別区債	0	0	0	
	建物減価償却累計額	568	758	190	退職給与引当金	12,186	13,236	1,050	
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	13,273	14,367	1,094	
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	79,786	78,502	1,284	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	79,786	78,502	1,284		
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	93,059	92,869	190		
資産の部合計	93,059	92,869	190						

財務諸表に関する特徴的事項等

行政費用として、補助費等の割合が高くなっているのは、商店街活性化総合支援事業（イベント推進事業、活性化事業）、商店街連合会補助、日暮里繊維街活性化支援事業（ファッションショー）等における補助金支出によるものである。

貸借対照表に計上されている有形固定資産は、南千住東口商業施設に関するものである。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>荒川区商店街連合会加盟会員数は減少傾向にあり、平成29年度では、平成19年度に比べ約15%減少している。また、区内の卸売業、小売業、飲食業の事業所数についても、減少傾向にある。</p> <p>商店街は、区民の日常生活を支える存在であるとともに、地域の人々の交流の場としての役割を担っているが、商店街の利用減少に伴い、住民と地域コミュニティ、商店街との触れ合いの機会が減少しつつある。</p> <p>平成26年度に実施した荒川区商業事業者訪問支援事業調査によると、商店街で実施しているイベント等への参加率について、「消極的」、「協力したいが参加できない」と回答した商業者が約65%となっている。</p>
課題	<p>大型店の増加やインターネット通販の普及等により、商店街での買物が減少傾向にあるため、商店街ならではの魅力を強く発信する必要がある。</p> <p>住民と商店街とのつながりが希薄化する中、本来商店街が持っている地域コミュニティの核としての機能を十分に発揮できるよう支援する必要がある。</p> <p>商店街で実施するイベントの減少は、商店街及び地域のにぎわいの低下につながるため、積極的な商店街活動や新たな商店街事業の展開ができるよう支援する必要がある。</p>
今後の方向性	<p>商店街が実施するイベント事業への継続的な支援を行うことで、商店街への来訪者を増やし、地域のにぎわいを創出できるよう支援する。</p> <p>引き続き、日暮里ファッションショーへの支援を継続するとともに、新たに建設予定の「(仮称)日暮里地域活性化施設」などを活用することにより、観光スポットとしても有名な日暮里繊維街の魅力を強く発信し、他地域への来街者を荒川区へ呼び込む流れを構築する。</p> <p>商店街活性化に向けた継続的な支援として、都と連携しながら、商店街の施設整備やイベント事業などのハード面、ソフト面の両方から支援に取り組む。</p> <p>にぎわいコーディネーター・LANPコーディネーター(1)の派遣や各種支援の充実等に取り組むことで、商店街の組織力強化や、商店街の活性化につながるよう、きめ細やかなサポートに取り組んでいく。</p> <p>(1) 中小企業診断士等の資格を持ち、商店街振興や地域のイベントの企画・実施の経験を有する専門家が、商店街振興策や個店の経営改善等に関する相談業務及び各種補助制度の案内を行う。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
30年度	31年度	
重点的に推進	重点的に推進	区内の商店街を支援し、その活性化を図ることは、地域の活性化及び区民生活の安定に向けて重要であるため、重点的に推進する必要がある。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		28年度	29年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
商店街活性化総合支援事業（活性化事業）	06-01-13	3,009	9,076	936	6,866	重点的に推進	重点的に推進	意欲とやる気のある商店街等が、活性化を目的に自主的に取組む事業を区が支援することにより、区内の商業環境や地域の発展を図るものであり、優先度は極めて高い。
商店街活性化総合支援事業（イベント推進事業）	06-01-14	21,721	25,491	16,539	19,967	推進	推進	意欲とやる気のある商店街等が開催するイベント事業を支援することにより、商店街の賑わい創出及び商店街と消費者の交流を図ることができるため、優先度は高い。
商店街活性化総合支援事業（特売奨励事業）	06-01-15	4,518	4,553	4,000	4,000	推進	推進	区内の多くの商店街で一斉に開催される特売事業を支援することにより、消費生活の安定及び区内商業の発展を図ることができるため、優先度は高い。
産業活性化事業	06-01-16	7,736	7,855	6,700	6,749	重点的に推進	重点的に推進	まちの賑わいを創出するために、専門家によるアドバイスや各種補助を行う事業であり、当該事業の優先度は極めて高い。
商店街ルネッサンス推進本部事業	06-01-17	2,276	3,467	1,050	1,068	重点的に推進	重点的に推進	商店街ルネッサンス推進事業は、商店街の活力を取り戻すための庁内の横断的な取り組みであり、当該事業の優先度は極めて高い。
商店街空き店舗活用推進事業	06-01-18	518	553	0	0	推進	推進	商店街の空き店舗の解消を図るため、事業内容を一部見直し、都の補助事業（商店街チャレンジ戦略支援事業）の活用を含めた支援策を推進していく。
商店街連携支援事業	06-01-20	710	912	192	359	継続	継続	複数の商店街の連携を支援することで、新たな事業展開が期待できることから、継続実施していく。
らく楽商店街モデル事業	06-01-22	10,395	8,727	7,286	6,517	継続	継続	商店街と緊密に連携を取りながら、事業を継続実施していく。
商店街連合会補助（プレミアム付き区内共通お買い物券）	06-01-24	19,878	18,430	16,251	14,578	推進	推進	区内商店街等で組織された団体の事業を支援することは、商店街の活性化及び区民生活の安定にとって重要であり、優先度は高い。
日暮里繊維街活性化支援事業（ファッションショー）	06-01-25	21,714	23,568	12,387	12,520	重点的に推進	重点的に推進	全国有数の繊維関連品の集積地である日暮里を「繊維の街・ファッションの街」として全国にPRし、その活性化を図るための施策として優先度は極めて高い。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		28年度	29年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
大型店対策事業	06-01-26	1,037	1,105	0	-	推進	推進	大規模商業施設の出店等による影響を事前に把握し、地域環境の保全を図る事業として推進していく。
商業事業者訪問支援事業	06-01-37	0	0	-	-	継続	休止・完了	本事業で得た基礎データを分析し、商業・サービス事業者に対する実効性ある支援を継続して行う（平成30年度に実施し、その後は4年ごとに実施予定）。
合 計		93,512	103,737	65,341	72,624			